

# [WINSTAR CAD Ver.11]からのバージョンアップ内容一覧

新設、強化のあったコマンド名のみを記載し、変更のなかったコマンドは省略しています。

[参考] 新設コマンド:34、 拡張、機能強化コマンド:13

## 【ファイル】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
連続印刷	保存されている複数の図面を印刷します。	◎
連続プロッタ出力	保存されている複数の図面をプロッタに出力します。	◎
連続ファイル変換	保存されている複数の図面を他形式に一括変換します。	◎
標準図面の検索	保存されている図面中の文字列を検索対象として図面の検索を行いません。	◎
標準、旧図面の検索	保存されている図面のファイル名を検索対象として図面の検索を行いません。	◎
旧図面を標準図面に一括変換	旧形式の標準図面を、ZEN形式に一括変換します。	◎
ファイル拡張削除	[WINSTAR CAD]独自形式の不要になったファイルを検索し、削除します。	◎
シンボルの複写	シンボルファイルからシンボルファイルへシンボルを複写します。	◎
シンボルの削除	シンボルファイルから指定のシンボルを削除します。	◎
シンボルの名前変更	保存されているシンボルの名前を変更します。	◎
シンボルのソート	保存されているシンボルを名前順にソートします。	◎
DWG・DXFファイルで保存	文字間隔の保持。保存時英数文字のみ半角変換、対応可能な全文字の半角変換の選択が可能。	○

## 【編集】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
グループ化	グループ化する対象要素を指定する際に、指定済みの要素を対象から除外できるようになりました。	○
グループ確認	すでにグループ化されている図形から要素を除外できるようになりました。	○
マルチコピー	複写対象要素を複数回にわたって指定でき、仮表示をしながら複写します。	◎
マルチムーブ	複写対象要素を複数回にわたって指定でき、仮表示をしながら移動します。	◎

## 【表示】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
ペン線種の選択	カレントペンを指定します。	○
基準座標点設定	基準座標系の原点を設定します。	○
要素ペン線種取得	カレントペンを、カーソルにより指定された要素のペン番号、線種に変更します。	○
要素情報表示	カーソルで指定された要素の情報を表示します。	○
スナップ	スナップ機能をON/OFFできます。	○
画面情報	以下の項目が追加されています。 文字の履歴表示を使用しない	○
ツールバー	座標情報アイコンの表示サイズ変更、ツールバーのフロート表示、直前の定義状態への復帰機能	○

## 【作図】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容	区分
文字	カウントアップ文字	カウントアップ文字の基点とオフセット値が指定できるようになりました。	○
	文字一括編集	英数文字だけ全角に変換することができるようになりました。	○

## 【寸法】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容	区分
寸法線	2点の指定寸法線	指定された2点間に寸法線をセットし、内矢外矢、寸法値の位置が指定できます。	◎
	2要素間隔寸法線	平行線、または同心円の間隔寸法線を作図します。	◎
寸法値	寸法値横方向移動	寸法値の方向角に平行に位置を移動します。公差もセットで移動できます。	◎
	寸法値移動	寸法値を自由な位置に移動します。公差もセットで移動できます。	◎

## 【加工】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容	区分
複写	複数指定複写	複写の対象要素を、複数回に分けて指定できます。	◎
移動	複数指定移動	移動の対象要素を、複数回に分けて指定できます。	◎
拡大詳細図	—————	詳細図用に拡大する対象を、円形に取り出します。	◎
画像	画像を奥に移動	画像やペイント図形を奥に移動し他の要素を重ねた状態に変更します。	◎
	画像を手前に移動	画像やペイント図形を手前に移動し他の要素の上に重ねた状態に変更します。	◎
図面間複写移動	図面間複写元指定	図面間複写したい対象を1回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間複写元 複数指定	図面間複写したい対象を複数回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間移動元指定	図面間移動したい対象を1回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間移動元 複数指定	図面間移動したい対象を複数回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間データセット (実寸)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元の寸法のままセットします。	◎
	図面間データセット (縮尺)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元図と複写・移動先図面の縮尺値を計算し拡大縮小して見た目が同じになるようにセットします。	◎
図面間データセット (用紙)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元図と複写・移動先図面の用紙サイズを計算し拡大縮小して見た目が同じになるようにセットします。	◎	

## 【設定】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
その他	以下の項目が追加されています。レイヤ管理画面の表示倍率	○
システム設定	設定の保存と取り込み、設定の初期化、関連付けファイルの設定、旧バージョンの設定の引き継ぎ	◎
文字の表示・入力時の設定	文字の画面表示や入力時の各種の設定をします。フォント表示の平準化、寸法値を半角文字でセット、「」,「」,「」,「」の字詰め、文字の簡略表示、IME自動起動のON/OFF	◎
ストロークフォントエディタ	標準ストロークフォント文字の修正や作成ができるユーティリティを起動します。	◎
標準ストロークフォントの差替	複数のストロークフォントの差し替え機能。	◎
[エーティ]フォントインストール	添付してあるユニコード対応の日本語・簡体字・繁体字・韓国語フォントをインストールします。	◎

## 【その他】

項目	機能内容
DWG・DXFファイル	さらに、コンバートの精度を向上させました。
【プリセット】機能の強化	あらかじめ設定値の組み合わせを用意できる、プリセット機能を強化しました。プリセット機能が用意されているコマンドで5つのプリセットの登録とプリセット名を付けておくことができます。
文字入力機能の強化	定型文を簡単に選択できる文字の履歴プリセット機能。よく使う文字を選択するだけで入力できます。
画面の見やすさ	状態表示のXY座標値アイコンに大きなサイズを用意しました。また、文字入力のダイアログボックスで文字サイズを大きくし、見やすくなるようにしました。
より使い易く	アイコンやキーボードでしか操作できなかった機能をメニュー化することでより使い易くなるように色々な場面に見直しを行いました。マウスの右クリックメニューを充実しました。
画面描画	画面描画の手法を見直し、各所で応答の高速化を計りました。
ユーティリティ	すべての機能を[WINSTAR CAD]本体に内蔵したためユーティリティは廃版となりました。
フォント名表示	現在選択されているフォント名をツールバーに表示できるようになりました。
標準ストロークフォントの縦書き対応	標準ストロークフォントを指定している場合でも、縦書きの長音記号やカッコ、促音などがバランスよく配置できるようになりました。
寸法数値の半角入力	寸法値の文字を半角でセットできるようになりました。
画面表示の高速化	編集メニューで図形を仮表示する際の表示スピードを高速化しました
画面描画	画面描画の手法を見直し、各所で応答の高速化を計りました。